



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」 令和3年(2021年)11月29日

国立二小だより

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

夢と希望を未来につなぐ学習発表会

11月18.19.20日に学習発表会が行われました。これまでは演劇中心に行われていた学芸会を発表内容の幅を広げ、学習発表会として開催しました。コロナ禍ということで鑑賞の仕方も工夫し、児童鑑賞日を2日間とし、保護者の皆様には学年毎の入れ替えにご協力いただきました。保護者の皆様のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

行事の名称を変えても、子供たちにとっては自らの成長や頑張りを保護者の皆様に見ていただく大切な行事であることに変わりありません。子供たちはこれまでの学習で身に付けた力を発揮し、友達と協力しながら見ている人に想いやメッセージを伝えることを大きな目標としました。

代表委員会がみんなの総意を集めてつくったスローガンの「夢と希望を未来に乗せて出発進行」を意識して、それぞれの想いやメッセージを演技や演奏等に込めて精一杯がんばりました。

低学年は音楽等の教科の学習で身に付けた力と、これまでの学校生活で築いた友達との絆、協力する力を発揮し、発表をしました。マスクをしての歌や言葉、演奏になりましたが、瞳の輝きから子供たちの頑張りが楽器の音や歌声とともに心に響きました。中学年は、音楽と他の教科等で身に付けた力を活かした学習発表に挑戦しました。日常の学習からテーマを決めて準備や練習に取り組みました。一人一人が自分の得意なことや好きなことを活かし発表をしました。一人一人の主体性や創造性を感じる素晴らしい発表でした。高学年は演劇の発表でした。演劇は総合芸術といわれています。子供たちは学校で身に付けた力だけではなく、生活の中で培った感性や個性を発揮し、みんなで協力して題材のもつメッセージを伝えることができました。高学年らしい見ごたえのある素晴らしい発表でした。

保護者の皆様には、道具や衣装の準備や健康や心の管理などで子供たちの最高の舞台を支えていただきました。そして、保護者の皆様からの温かい言葉かけを心の支えとしてこの日を迎えた子供たちもたくさんいました。子供たちを温かく見守り、応援をしてくださった保護者の皆様の深い愛情を改めて感じることができました。本当にありがとうございました。

さて、下に紹介したのは、前々回の学芸会で音楽専科が中心となり、つくった学芸会の歌です。国立二小の子供たちのよさや私たちが大切にしていることなどが歌詞に盛り込まれています。私は開会の挨拶でこの歌の紹介をしました。そして、今回の学習発表会を通してこの歌にある二小の良さがしっかりと受け継がれていることを伝えました。

1 国立二小の学芸会が始まるよ
楽しいお話を 元気いっぱい演じます
一人ひとりみんな もっている
素敵な力を合わせよう
みんなで手をつないで
最高の学芸会に

2 国立二小の学芸会が始まるよ
心をこめた劇 力いっぱい演じます
大切なものは何なのか
私たちが今 伝えたい
みんなで手をつないで
最高の学芸会に

3 国立二小の学芸会が始まるよ
心をついに 素敵な劇を演じます
自分に自信を 勇気を
友達に熱いエールを送ろう
みんなで手をつないで
最高の学芸会に

子供たちのスローガンである「夢や希望を未来に乗せて出発進行」の言葉にふさわしい、二小の良さを子供たちの力で未来につなぐ学習発表会となりました。